

2013年7月5日

Bulk Carrier “TSUKUBA MARU” を引渡し

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（社長：三島 慎次郎，本社：東京都港区）は、7月5日（金）、有明事業所（熊本県玉名郡長洲町）にて建造中の TSUKUBA SHIPPING S.A.向け Bulk Carrier “TSUKUBA MARU”（つくばまる）を引き渡しました。

本船は、当社建造の 205,000 DWT Bulk Carrier であり、今年3月に津事業所にて引渡した“PROSPER SUNWAITO”の姉妹船です。

PSPC(WBT), CSR, BNWAS や Free Fall Lifeboat など最新ルールを適用し、推進性能面では、Ax-Bow の採用で波浪中の船速低下軽減を図り、Surf-Bulb, Super Stream Duct により馬力低減及び燃費改善に貢献しています。

また、従来船の載荷容量を確保しつつ、貨物艙の船側構造を単船側構造から二重船殻構造にしており、荷揚げ効率を向上及び衝突や荷役等のダメージによる浸水リスクを大幅に軽減しています。

<主要目>

全長	:	299.70メートル
幅	:	50.00メートル
深さ	:	25.00メートル
喫水	:	18.20メートル
総トン数	:	106,368トン
載貨重量トン数	:	約206,542トン
主機関	:	MITSUI MAN B&W 7S65MC-C8
定員	:	25名
航海速度	:	14.70ノット
船級	:	NK